

丹波市

令和
2年度

活躍市民による
まちづくり事業
応援補助金

実績報告集

まちづくり部市民活動課

はじめに

今後益々深刻化する少子高齢化や個人ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化など、本市を取り巻く社会は大きく変化を続けています。このような、多様化するニーズ、複雑化する地域課題に対応するためには、行政だけでなく、地域社会を構成する市民の皆さん、一人ひとりが地域の担い手として力を発揮することが必要です。

市民の皆さんが主体となった市民提案による新たな活動や活動のさらなる拡大を支援します。

1. 補助金の目的

市民の皆さんの提案による、公益的な活動を継続的に実施される団体に対し、その事業費の一部を補助することで、市民が主体となったまちづくりを支援することを目的とします。

2. 補助対象事業（事業内容、事業範囲）

次の項目すべてに当てはまる事業

- ① 新規事業であり、3年以上継続する見込みのある事業
- ② 既存事業に新たな取り組みを加えた事業（新たな取り組み部分だけが補助対象）
- ③ 丹波市の社会的、地域的な課題解決のための事業や地域の活性化につながる事業
- ④ 小学校区以上の地域を対象とした事業 ※青垣地域は旧小学校区とします。

3. 補助対象団体

次の項目すべてに当てはまる団体

- ① 市内に本拠地を置き、主として市内を対象に活動している団体
- ② 規約や会計を定めている団体
- ③ 非営利団体

4. 補助金の種類

■提案補助金

補助率 補助対象経費の3分の2以内（千円未満切捨）

上限額 30万円

審査方法 公開審査

補助限度 初回から3年まで

■応援補助金

補助率 補助対象経費の3分の2以内（千円未満切捨）

上限額 5万円

審査方法 書類審査

補助限度 1回のみ

5. 補助対象経費

- ・謝金、講師旅費、消耗品費、印刷広告費、通信運搬費、保険料、委託料、使用料 など

◆令和2年度実績

【 交付団体 】 15団体(うち7団体が新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止)

【交付決定額】 3,422,000 円

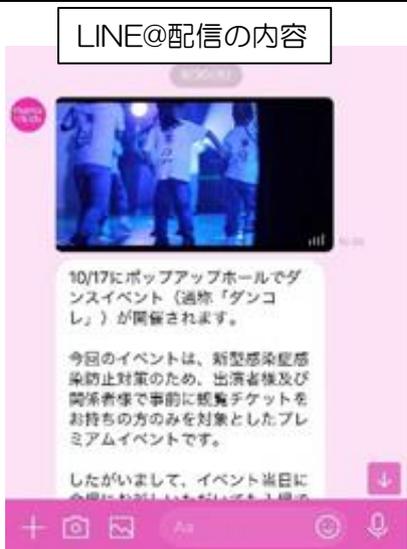
【交付確定額】 1,376,000 円

◆令和2年度交付団体一覧

No.	団体名	事業名
1	DANCE COLLECTION 実行委員会	DANCE COLLECTION 2020 AUTUMN・YOUNG TOWN DANCE SHOW VOL.21
2	生涯学習応援隊 so-so.39	いえみ café 2020 ～ちょっと学んでみませんか～
3	市島町史実研究会	「歴楽 ICHIJIMA」の事業推進
4	スポーツクラブ21氷上東	みんなでたのしいまちづくりをしよう
5	氷上郷土史研究会	埋蔵古資料の発掘～保存とそのノウハウの蓄積・普及～③
6	「注文をまちがえる喫茶店」in丹波 企画実行委員会	注文をまちがえる喫茶店「カフェだんない」
7	現場音楽研究会 丹波支部	人生100才時代！健康長寿を目指して～認知症予防、音楽療法の可能性へのプロジェクト
8	上久下地域自治協議会	檜皮の里 上久下のPR活動

◆新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止となった団体一覧

No.	団体名	事業名
1	みんチャロン2019実行委員会	みんなのチャレンジトライアスロンin丹波青垣2020
2	丹波フォトロゲイニング実行委員会	ふるさと丹波フォトロゲイニングin KASUGA
3	チルナイトシネマ実行委員会	チルナイトシネマ2020
4	一般社団法人 丹波青年会議所	SPLASH！！丹波！！2020
5	久下自治振興会 文化祭実行委員会	久下の里ひろば 第3回 文化祭
6	一般社団法人 SSKT	発育・発達とは？「幼稚園看護師による発達支援」の講演会
7	タンバッカスフェスティバル実行委員会	タンバッカスフェスティバル

No.	1	実施団体名	DANCE COLLECTION実行委員会		区分	提案補助金
事業名称	DANCE COLLECTION 2020 AUTUMN・YOUME TOWN DANCE SHOW VOL.21					
事業費	726,080円	補助金確定額	245,000円	実施場所	丹波ゆめタウン ポップアップホール	
事業目的	丹波市内に11のダンススクールがあることは既にダンス活動が地域に根付いていることの指標であり、更にダンスに関わる人口を増加させ、ダンスを通じた地域活性化を目的とする。					
事業内容	<p>2020年10月17日に、ゆめタウンポップアップホールを会場とし開催した。なお、ダンススクールに通う孫の姿を観ることを楽しみにされ来館される祖父母の方々のために観覧は無料とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、次の通り開催方法の変更を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演ダンスチーム関係者に限り観覧できるイベントへ変更（観覧者の定員設定） ・一度の出演人数を40人以下に変更 ・控室は設置せず、リハーサルは実施しない ・密の回避、来場者の住所氏名の他、検温値や健康状態の把握、手のアルコール消毒、マスク着用の徹底 ・対外的なイベントの告知はせず、対象を出演ダンスチーム関係者に留め広告映像を配信 等 					
事業の成果感想等	<p>SNSツールを活用した告知強化を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、対外的な広報活動を取りやめ、広告映像は、出演ダンスチーム関係者の範囲に留め配信した。</p> <p>新型コロナウイルスへの懸念から、出演を希望するダンスチーム数は、想定1/3程度に減少し、出演者も40%程度に減少した。</p> <p>しかしながら、開催できたことで事業を今後も継続させていく架け橋を築くことができた。</p>					
参加人数	大人	50人	高校生	30人	合計	357人
	中学生	50人	小学生以下	227人		
事業写真	 <p>プロモーション映像</p>		 <p>ステージの状況</p>		 <p>LINE@配信の内容</p>	

No.	2	実施団体名	生涯学習応援隊so-so.39	区分	提案補助金
事業名称	ふえみcafé 2020～ちょっと学んでみませんか～				
事業費	258,279円	補助金確定額	168,000円	実施場所	丹波市内 住民センターほか
事業目的	既存の女性団体が衰退する中、気のおけない同年代の女性が集まって学び、点から線、線から面へとつながりをつくることを目的とする。				
事業内容	女性が興味を持ちそうなテーマ、少人数で対話できる場所を設定し、講義を聴くだけの受動的な学びから、自分を変えたり人に伝えたりできるような主体的な学びを8講座予定。				
事業の成果 感想等	<p>コロナ禍で1講座中止、1講座が動画配信となったが、概ね予定どおり開催することができた。</p> <p>また、能動的な内容で積極的な意見交換も見られた。次年度につながる内容もあり、小さくても継続することがこの社会状況の中、最も大事なことに思えた。</p> <p>ただ、参加者が40代以上で、いわゆる若者世代を巻き込めなかったのは反省点。</p>				
参加人数	大人	41人	高校生	0人	合計 45人
	中学生	0人	小学生以下	4人	
事業写真					
	防災お菓子バッグづくり		防災クロスロード・ゲーム		
					
	歴史講座・古文書に触れよう		コロナ禍で12月講座を動画配信		

No.	3	実施団体名	市島町史実研究会		区分	提案補助金
事業名称	「歴楽 ICHIJIMA」の事業推進					
事業費	207,800円	補助金確定額	100,000円	実施場所	ライフピアいちじま	
事業目的	過去3年間、竹田地区自治振興会主催により成果を挙げて来た「歴楽 TAKEDA」に引き続き、市島町史実研究会の主催による「歴楽 ICHIJIMA」を実施し、身近にある歴史を見直し共有化することで郷土愛を育む。					
事業内容	総合プロデューサーとして山内順子氏を招聘し、ライフピアいちじまで4回開催（年5回の計画が、コロナ禍で4回になった）。 永久保存版カラーテキストの制作やパワーポイントの活用で、地域史を分かり易く紹介した。					
事業の成果感想等	<p>第1回 9/12（土）「岩戸寺の絵馬」（山内順子氏）53名 第2回 11/28（土）「大野唯四郎日記を読む（3）」（青木正文氏）37名 第3回 12/19（土）「悪右衛門直正の娘たち」（山内順子氏）54名 第4回 1/16（土）「生類憐みの令と上竹田村の人々」（山内順子氏）42名</p> <p>参加料を500円頂いたが、全4回で186名（平均46.5名）の参加とテキストバックナンバー（200円）の頒布数も74冊あった。地域に遺された歴史遺産をもっと知りたいというニーズは確実にあり、それを史実に基づいて分かりやすく解説し、共有化して次世代へ繋いでいくという土壌づくりが少しでも進み始めていると思う。</p>					
参加人数	大人	186人	高校生	0人	合計	186人
	中学生	0人	小学生以下	0人		
事業写真	 <p style="text-align: center;">歴楽風景</p>  <p style="text-align: center;">歴楽テキスト</p>					

No.	4	実施団体名	スポーツクラブ21氷上東		区分	提案補助金		
事業名称	みんなでたのしいまちづくりをしよう							
事業費	436,642円	補助金確定額	268,000円	実施場所	丹波市内			
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人の関わりやすいまちづくりをすすめる。 ・若い人も年配の人も女性も子どもも一緒に考えるまちをつくる。 ・地域づくり、自分の好きなことを広げるグループ・サークルづくりをする。 							
事業内容	大学生専門学校生が企画する教室イベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・手作りマスクボランティアによるマスクづくり ・生郷まちの灯りフェスティバルの開催 							
事業の成果感想等	大学生専門学校生等が体験教室やイベントを自ら運営することで、運営する楽しさを知ることができた。 新しいことを企画する楽しさも味わえたようだった。 「生郷まちの灯りフェスティバル」の中でも、進んで全体司会をしたり、市民プラザ一周年記念イベントへの参加をしたりして、自主的に企画できていたことからグループとして良いスタートができたと思う。							
参加人数	大人	300人	高校生	20人	合計	1,150人		
	中学生	30人	小学生以下	800人				
事業写真	 <p>お菓子づくり教室の様子</p>		 <p>地域人材によるスポーツ教室の様子</p>		 <p>段ボールハウスづくりの様子</p>		 <p>生郷灯りのフェスティバル</p>	

No.	5	実施団体名	氷上郷土史研究会		区分	提案補助金
事業名称	埋蔵古資料の発掘～保存とそのノウハウの蓄積・普及-③					
事業費	205,111円	補助金確定額	130,000円	実施場所	氷上住民センター 青垣住民センター	
事業目的	<p>(1) 埋もれてきた古文書・古資料に文化財としての価値と役割を与える。</p> <p>(2) 会員の生涯学習に資する。</p> <p>(3) 習得した技術を普及する。</p> <p>(4) 一般市民の郷土への関心喚起と愛着感の醸成。</p>					
事業内容	<p>(1) 氷上町円通寺の使用済み襖・屏風を解体し、下張りを剥がし整理した上で、翻刻・解読しデータベースとして保存、発表する。 このテーマは神戸大学地域連携推進室の指導の下で実施中。</p> <p>(2) 民間古資料の散逸・廃棄の防止。</p>					
事業の成果感想等	<p>円通寺は曹洞宗の別格準本山、触れ頭として三丹に君臨していたが、襖から出た江戸幕府や諸寺院の円通寺宛通達・報告文書のうち、鉄砲所持有無、タバコの栽培・所持禁止などの興味深いやり取りが発見され、会の内外に広報した。</p> <p>屏風から出た明治39年の「大阪新報」には、天王寺公園での「戦勝記念博覧会」展示の観覧車の記事が発見され、貴重な資料として業界にも波紋を呼んだ。（日本最初は東京上野か大阪天王寺かの実証資料となった）</p> <p>当会々員により発見・調査された柏原、梁瀬間の「柏梁鉄道」敷設計画の講演会を開催、計61名が聴講、好評を博した。</p> <p>※上記のどれもが地道な作業の結果であり、文化財の発掘・顕彰上、また会員のモチベーションの上でも成果となった。</p>					
参加人数	大人	164人	高校生	0人	合計	164人
	中学生	0人	小学生以下	0人		
事業写真	 <p>明治時代の新聞（大阪新報）の化粧水の広告部分</p> <p>襖から出た古資料の破損個所の修復</p> <p>破損のひどいものは、裏側から和紙の断片を貼り合わせて修復</p>					

No.	6	実施団体名	注文をまちがえる喫茶店 in丹波企画実行委員会		区分	提案補助金
事業名称	注文をまちがえる喫茶店「カフェだんない」					
事業費	177,856円	補助金確定額	118,000円	実施場所	丹波市内	
事業目的	認知症高齢者の方々がスタッフとして主体的に参加されるカフェを地域で開催し、多くの市民に来店を呼びかける。これらを通して地域での出会いの裾野を広げ、認知症の方々への理解と共感を広げていくことを目的とする。					
事業内容	カフェは営業中の店舗等をお借りして2ヶ月に1回程度、市内巡回型での開催とし、この活動を基本にご家族との座談会や派生する取り組みを予定する。いずれも地域自治組織との連携など地域に根差した活動を目指す。					
事業の成果感想等	<p>2020年度、上記の事業活動を展開する予定だったが、年初来のコロナ禍を受けて、認知症高齢者の方への感染リスクを徹底排除するため、カフェ開催などの活動は見送った。この間、団体の広報宣伝や地域への浸透力の維持発展を目指し、広報活動に注力した。2020年7月に団体広報紙の新聞折り込みを実施（市内全戸配布）したほか、専用HPの開設や市民プラザでのタペストリー展示などを行った。</p> <p>また、活動アルバム等を認知症スタッフの方々へお届けする事後フォロー活動なども着実に進めてきた。これらを通して団体の活動基盤の維持を目指してきた。</p>					
参加人数	大人 中学生		高校生 小学生以下		合計	
事業写真	 <p>注文をまちがえる喫茶店 「だんない」広報紙 2020年6月発行</p> <p>実行委員長あいさつ 認知症高齢者の方々の出会いの裾野を広げようとしてスタートした、注文をまちがえる喫茶店「だんない」は、昨年7月から本年1月までの間に丹波市内で計4回開催することができました。この間、多くの皆さんから頂戴したご協力に改めて感謝申し上げます。本当に有難うございました。</p> <p>さて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、私たち実行委員会では、本年3月、5月に開催予定のカフェを延期する事となりましたが、これらイベント再開の予定やその家賃を早くお知らせし、また、聞かれた方々の生の声なども広くお伝えしようと、今般、ホームページを開設しましたので併せてご案内いたします。よろしくご愛顧ください。新型コロナウイルス感染症は人と人の間に難しい障壁と判断を持ち込みつつあります。こんなとき「社会的距離」は勿論のこと、加えて、これから必要となるのは「社会的つながり」（ソーシャルリレーション）なのだろうと思います。医療・福祉従事者の皆さんのご苦勞に感謝し、被害が最小限で食い止められることを願いつつ、私たちは、これからも「社会的つながり」を地域に生み出す活動を進めていきたいと思っています。（法橋院）</p> <p>「だんない」ってどんなところ？ 認知症当事者の方々がスタッフとして、注文をとったり、コーヒーを運んだりされるカフェです。お客様には、もし注文等に間違いがあっても「だんない」と温かく受け入れていただき、柔らかな空気が流れる中で認知症の方やその家族が安心して地域の方々と触れ合える場所です。 ※「だんない」とは丹波の方言で「気にしない！」「かまわないよ！」などの意味があります。</p> <p>「だんない」の風景 ▲丹波駅前店舗前 ▲丹波駅前店舗内</p>					

No.	7	実施団体名	現場音楽研究会 丹波支部	区分	提案補助金
事業名称	人生100才時代！健康長寿を目指して～認知症予防、音楽療法の可能性へのプロジェクト				
事業費	623,929円	補助金確定額	300,000円	実施場所	ライフピアいちじま
事業目的	健康長寿日本一に向けた丹波市のスローガンのもと、認知症予防の第一人者の研究内容と、音楽がもたらす認知症予防へのアプローチを通して、市民意識の向上を図る。				
事業内容	<p>東京医科歯科大学客員教授 浅田隆先生の公演 「コロナ時代の認知症予防」～人生をカッコ良く～</p> <p>合奏システム研修所主宰 折山もと子先生による音楽アンサンブル 「この時代こそ音楽で繋がる人との輪」～人生に生きがいを～</p>				
事業の成果感想等	<p>コロナ禍の状況のなか、講演会を開催できたことに達成感がある。認知症患者と介護者は現代社会のひとつの身近な問題でもあり、課題でもある。</p> <p>そのなかで参加いただいた方々は、講演会では熱心にお話を聞かれ、音楽アンサンブルでは笑顔がたくさん拝見することができた。</p> <p>認知症予防はもちろんだが、毎日笑顔が絶えず穏やかに生活を送ることが、一番の健康長寿だと考えさせられるところがあった。</p>				
参加人数	大人 100人 市民サークル参加者 52人	高校生 20人 小学生以下 8人	合計	180人	
事業写真	 <p>浅田隆先生講演会</p>		 <p>折山もと子先生合奏</p>		
					

No.	8	実施団体名	上久下地域自治協議会		区分	応援補助金
事業名称	檜皮の里 上久下のPR活動					
事業費	137,995円	補助金確定額	47,000円	実施場所	上久下小学校校区	
事業目的	上久下地域の宝である檜皮葺、茅葺を活かして、記念式典や勉強会を実施することによって、地域愛を育てる。 檜皮の里上久下を地域内外に広くアピールする。					
事業内容	月日：令和3年3月27日（土） 場所：旧友井家住宅 第1部 檜皮葺職人の技を目の前で見る見学会 第2部 ユネスコ無形文化遺産登録記念式典 第3部 旧友井家住宅からかみくげの資源を知り、広げる勉強会					
事業の成果感想等	記念式典の前に檜皮葺職人の技を実際に見てもらったことで、後のプログラムに対する期待が高まった。 記念式典では市長や教育長にご挨拶を頂き、横断幕のお披露目やくす玉を開披したことで、ユネスコ無形文化遺産登録の価値が一層上がったと思う。 旧友井家住宅内での勉強会は定員一杯となり、地域内外に広くアピールできたと思う。					
参加人数	大人	55人	高校生	0人	合計	55人
	中学生	0人	小学生以下	0人		
事業写真						



【お問合せ先】
丹波市 まちづくり部 市民活動課

兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地
TEL：0795-82-0409
FAX：0795-82-4370